



## 2/27 予防的避難の取り組みを報告 市町村等防災担当者等研修会

災害から地域住民の生命を守るため、本年度から始まった「住民避難モデル実証事業（予防的避難）」に取り組む市町村の事例報告と研修会（約70人参加）が県庁で行われ、村総務課防災消防係の山村課長補佐がその取り組みを報告しました。

村は、平成24年7月12日に発生した九州北部豪雨災害で、甚大な被害を受けたことを踏まえ、昨年6月と10月に予防的避難を実施。夕方明るい内からの避難を村民に促しました。

研修会で山室課長補佐は「住民の命を守るため、空振りや恐れず予防的避難を実施してほしい」と呼びかけました。



研修会で報告する防災消防係の山室課長補佐

## 2/26 男の料理 召し上げれ 男の料理教室

料理の楽しさを知り、生活に役立ててほしいと、「男の料理教室」（村食生活改善推進員協議会主催）が白水保健センターで行われ、村内60歳以上の男性13人が「餃子」「野菜スープ」「里芋のとも和え」作りに挑戦しました。

はじめに、基本となる調味料の量り方や材料の切り方、塩分測定や栄養に関する説明が行われ、実際に料理。餃子作りでは、具の量や、包み方などに苦慮しながらも、徐々に上達し、参加者たちは「具材が分かり安心して食べられる」「思うより簡単。家でも作ります」と楽しそうに作っていました。



食改会員の手ほどきを受けながら餃子を包む参加者たち

## 3/2 もうすぐ1年生 ランドセル贈呈式

今春の新入学児82人へのランドセル贈呈式が、久木野総合センターで行われ、長野村長から一人一人にランドセルが手渡されました。

贈呈式では、長野村長が、「不安なこともあるかと思いますが、お兄さん、お姉さんたちが助けてくれます。心配せず、入学まで事故に遭わないように気を付けてください」とあいさつ。ランドセルを受け取った子どもたちは、嬉しそうに眺めたり触ったりしていました。

この日は、阿蘇南部地区交通安全協会からも黄色い傘が贈呈され、新入学児の交通安全を呼びかけました。



長野村長からうれしそうにランドセルを受け取る新入学児

## 3/1 トロッコ列車 出発進行～！ 南阿蘇鉄道トロッコ列車出発式

高森駅から立野駅間（17.7キロ）を結ぶ南阿蘇鉄道トロッコ列車（ゆうすげ号）の発車式が、高森駅で行われました。

発車式では、高森幼稚園の園児18人が力強い和太鼓を演奏し、古澤敬一高森駅長が「どこの風景にも負けない阿蘇の景色と、おもてなしの心を持って頑張りたい」とあいさつをされました。

今年度のトロッコ列車利用者数は、過去5年で最多の約5万1千人の利用見込み。英語・中国語・韓国語案内も導入され、外国人観光客の集客に向けた取り組みも行われています。



元気に発車の合図をする高森幼稚園の園児と古澤高森駅長

## 3/17 きれいな花が咲きますように 久木野保育所園児が卒園記念

今春卒園する久木野保育所の園児18人が、保育所内の土手に、シバザクラの苗を植えました。

これは、卒園する園児たちの保護者が提案したもので、卒園記念として実施。保護者や久木野土地改良区の協力を得て、シバザクラの苗約200株が植えられました。

園児たちが行うのは、ポットから取り出した苗を、肥料が入った穴に押し込む作業。土にまみれた園児たちは、「虹色の花が咲けばいいなあ」と目を輝かせていました。

春には色鮮やかな花が咲く予定。通る人の目を楽しませてくれます。



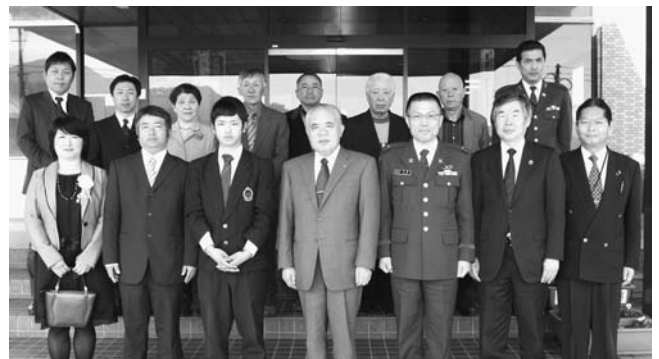
保護者とシバザクラの苗を植える園児たち

## 3/7 立派な自衛官になります 平成25年度 自衛隊入隊者壮行会

平成25年度自衛隊入隊者壮行会が、久木野庁舎で行われ、自衛隊熊本地方協力本部や自衛隊村父兄会、村担当者など13人が新入隊者を激励しました。

新入隊するのは、第六駐在の佐藤航大さん。鹿児島県霧島市の陸上自衛隊国分駐屯地に着任されます。

壮行会では、村父兄会の今村義己支部長が「自衛隊での経験が自分の財産となるよう頑張ってください」と激励。佐藤さんは、「剣道で培ってきた精神力と体力を糧に頑張ります。親孝行を忘れず立派な隊員になりたい」と抱負を述べられました。



陸上自衛隊に入隊する佐藤航大さん(左から3番目)と関係者の皆さん

## 3/19 長年の村議会議員活動に叙勲 福本運さん (吉田三)

特別叙勲の伝達式が、久木野庁舎で行われ、故福本運さん(吉田三)が旭日単光章を受章。ご遺族の福本孝生さんに長野村長から、勲記と勲章が手渡されました。

福本さんは、昭和62年4月に元白水村議会議員に初当選。以来、平成11年4月までの3期(12年)にわたり務められ、その間、経済建設常任員を8年歴任されるなど、村の発展と振興のため尽力されました。

ご遺族の福本孝生さんは「この度の叙勲、亡き父も、あの世でうれしがっていることだと思います」と喜びのあいさつをされました。



特別叙勲を受章された福本運さんのご遺族福本孝生さんと長野村長

## 3/18 佐川官兵衛 137回忌碑前祭 佐川官兵衛討ち死之地

明治10年の西南戦争時、豊後の口警視隊一番小隊長として本村黒川区(当時黒川村)で戦死した、元会津藩家老一等大警部佐川官兵衛(享年45歳)と隊士を供養する「第137回佐川官兵衛忌碑前祭」が黒川高野原台地討ち死の地碑前で行われました。

碑前祭には、県内外から佐川官兵衛顕彰会会員(興梠二雄会長 吉田一)や、黒川区老人会長、市原副村長など約30人が参列。光雲寺住職(東下田)の読経後、同会員 上村博孝さん(松橋町)による、居合道の奉納演武が行われました。



佐川官兵衛と隊士を供養する参列者の皆さん

# 地熱開発の先進事例を研修

南阿蘇村阿蘇山西部地域地熱資源活用協議会

有識者、村議会総務常任委員会、関係区長、熊本県などで構成する村阿蘇山西部地域地熱資源活用協議会のメンバーが、2月13日に北海道上川町（14人）、20～21日にかけては東京都八丈町（17人）の、地熱発電の取り組みを研修しました。

## 上川町（北海道）

北海道を代表する温泉地層雲峡温泉の周辺で、地熱発電の取り組みが進められています。

町は過去にも、同計画を進めてきましたが、町で事業をするには多額の予算を必要とするなどから凍結した経緯があります。

今日の再生可能エネルギーの必要性、自然公園法の規制緩和などから、平成24年11月に協議会を設置し、改めて検討を行っています。

平成25年9月、開発事業者が行う地表調査（注1）、環境モニタリング（注2）を協議会で承認し、今年3月に発表される解析結果を待っている状況。町で

はこの解析結果が「層雲峡温泉全体の源泉のメカニズムを確認できる貴重な資料」として期待されています。

## 八丈町（東京都）

平成11年3月から稼働する国内で最も新しい東京電力㈱八丈島地熱発電所（認可出力3,300kW）や、地熱蒸気との熱交換によって得られた、温水を活用した観光用温室（農産物直売所）など、地域と共生したまちづくりを視察。

現在、町では新たな地熱エネルギーを活用した地域活性化策を検討中。

今後、村協議会では先進事例を参考に、地熱発電と地域が共生した取り組みを検討していきます。

### ※注1 地表調査

重力探査等を実施し、地下の構造を把握。

### ※注2 環境モニタリング

温泉の湧出量、泉温、泉質などを定期的に測定。

〈問い合わせ〉  
役場 企画観光課企画係  
TEL(67)22330



東京電力㈱八丈島地熱発電所



観光用温室「農産物直売所」

# 私立幼稚園保育料等の補助制度のお知らせ

〈問い合わせ〉 村教育委員会

TEL(67)1602

幼児を私立幼稚園に通園させている家庭の経済的負担を軽くするため、入園料・保育料を補助します。

## ■応募資格

- ① 村内に住所を有するもの
- ② 申請時の年齢が満3歳（年度途中、満3歳を迎えた時点で入園する園児含む）～5歳児
- ③ 市町村民税所得割課税額が211,200円以下の世帯および生活保護世帯

※幼児と同一世帯に属している父母およびそれ以外の扶養義務者（家計の主宰者である場合に限る）全ての者の所得課税額の合計とします。

## ■申し込み時に必要な提出物

- ① 保育料等減免措置に関する調書
- ※幼稚園に備えています。
- ② 課税証明書(平成26年度証明書)
- ※発行は、6月2日以降となります。各自で取り寄せてください。

さい。

## ■補助額等

南阿蘇村私立幼稚園奨励費補助金交付要綱により、村立保育所の徴収基準額との整合性を図るため、限度額の範囲内で調整します。

## ■提出先

在籍する幼稚園  
（書類は在籍する幼稚園から受け取ってください）

## ■提出期限 6月16日(月)

※各幼稚園からは、6月27日（金）までに村教育委員会に提出されます。

